



岩五だより



令和6年6月18日

令和6年度 運動会 ～ 昇華 ～

6月8日（土）、お天気が心配されましたが、見事な晴天のよき日に、保護者の皆様、地域の皆様のご参観のもと運動会を開催することができましたことを、教職員一同大変嬉しく感じました。子供たちは保護者の皆様の声援を受けて、今まで以上に頑張っていました。

今年度の運動会では、昨年度の運動会の走る競技中心から、学年種目を各学年同じものではありませんが、2種類追加して行われました。異学年の交流も意識し、係活動や応援をし合う姿を通して、先輩・後輩の関係性を深めてくれることも期待していました。

お互いに運営面をサポートし合ったり、応援席から熱い声援を送り合ったりすることができました。運動会実行委員会のメンバーを中心に、多くの係活動の生徒たちが、自分たちの競技の後や閉会式の後にも、進行や片付けに関わって頑張ってくれました。岩五生の皆さん、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

さて、運動会ではクラスの士気を高めるために、全学年で応援旗を作成し、当日校庭に掲示しました。各旗の言葉をご紹介します。

【1年】1組「百花繚乱」、2組「先手必勝」

【2年】1組「百花“綾”乱」、2組「Go for the win～ we can do it ～」、3組「仲間」

※1年1組と2年1組は、偶然にも同じものになりました。

【3年】1組「一味同心」、2組「白」、3組「青い扇子（デザイン）」

【6組】「Do your best」

どの目標にもみんなの思いが込められており、この目標の達成を目指して2週間に渡り練習に取り組んできました。本番は練習の時以上の白熱した競技になりました。また、どの学年でも共通して、自分のクラスだけではなく他のクラスの生徒に対しても、一所懸命に頑張っている選手に向けて温かい声援を送っていました。

今年度の運動会のスローガンは、「～昇華～」でした。運動会実行委員会が考えてくれました。その意味としては、理科で使う用語（固体から液体を経ないで直接気体になる現象→身近なものとしては、ドライアイスなどが分かりやすいです）の他に、人間の心の分野では、湧きおこる不満や劣情などを、より高尚な情熱に高めていくことも意味しています。もちろん後者の解釈で、さらなる高みを目指して実行委員会は決定してくれました。

今の我々中学校にとって、とても必要な思いが込められたスローガンです。これからも「人と人との絆を深める」「子供たちにとって大切なことは何か」という視点で、教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力をくれぐれもよろしくお願いいたします。

江戸川区立小岩第五中学校

校長 前本 大智